



平成 24 年 7 月 30 日

各 位

東京都渋谷区恵比寿四丁目 20 番 3 号  
イー・ギャランティ株式会社  
代表取締役社長 江藤 公則  
(コード番号 8771 東証第二部)  
問合せ先：取締役 唐津 秀夫  
電話番号：(03) 5447-3577

### 新株式発行等に関する資金使途変更に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 11 月 25 日付「新株式発行及び株式売り出しに関するお知らせ」及び平成 23 年 12 月 5 日付「発行価格及び売出価格等の決定に関するお知らせ」並びに平成 24 年 1 月 6 日付「第三者割当増資における発行株式数の確定に関するお知らせ」において開示いたしました「調達資金の使途」(以下「資金使途」という。)について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 変更の理由

当社は、調達資金を、幅広くリスク移転先を確保しリスク移転手法を多様化するため、新たに組成する匿名組合への出資金に充当する予定でありましたが、既存の匿名組合をリニューアルし、新たな出資者を受け入れる等により規模を拡大することで、新たな匿名組合設立のコストを抑えたうえでリスク移転手法の多様化が図れると判断したため、調達資金を既存の匿名組合に対する追加出資に充当することといたしました。

##### 2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。変更箇所は、\_\_で示しております。

(変更前)

今回の一般募集及び第三者割当増資の手取概算額合計 721,670,440 円について、500,000,000 円を信用リスクへの投資を目的として組成する匿名組合への出資金に及び残額を金融法人向け保証サービスにおける担保資産に充当する予定であります。支出時期については、それぞれ平成 25 年 3 月期までを予定しております。

当社は、売掛債権や請負債権、金融債権、返還請求権など企業間取引で発生する様々な信用リスクを引受け、倒産等による債務不履行の際の保証を行うことで、企業の商取引における信用リスクをヘッジするサービスを事業法人及び金融法人向けに提供しています。引受けたリスクは、定性的な情報を含む当社独自の情報データベース等を活用して分析・審査し、さらには対象債権に関する法的裏づけを検討した上で、信用リスクの流動化を行います。当社は、このリスクの流動化にあたり、引受けたリスクを金融機関等が一種の運用商品として投資することができるよう、リスクポートフォリオを再組成し、リスク商品への投資機会（引受機会）を提供しております。

また、当社は、流動化したリスクポートフォリオについて、金融機関等へのリスク移転を図るだけでなく、リスク移転先の一部を当社も出資する匿名組合としております。これは、当社とともに匿名組合出資を行う企業を広く募ることで、受託したリスクについて幅広くリスク移転先を確保し、リスク移転手法を多様化することができるためです。本増資資金のうち 500,000,000 円については、今後新たに組成する予定の匿名組合への出資金に充当する予定です。

本増資資金の残額については、当社が金融法人から信用リスクを受託するにあたり、保証債務の一部について履行義務の保全を目的として提供する担保資産（現金及び預金等）に充当する予定です。

（変更後）

今回の一般募集及び第三者割当増資の手取概算額合計 721,670,440 円について、500,000,000 円を信用リスクへの投資を目的として組成している既存の匿名組合への追加出資金に及び残額を金融法人向け保証サービスにおける担保資産に充当する予定であります。支出時期については、それぞれ平成 25 年 3 月期までを予定しております。

当社は、売掛債権や請負債権、金融債権、返還請求権など企業間取引で発生する様々な信用リスクを引受け、倒産等による債務不履行の際の保証を行うことで、企業の商取引における信用リスクをヘッジするサービスを事業法人及び金融法人向けに提供しています。引受けたリスクは、定性的な情報を含む当社独自の情報データベース等を活用して分析・審査し、さらには対象債権に関する法的裏づけを検討した上で、信用リスクの流動化を行います。当社は、このリスクの流動化にあたり、引受けたリスクを金融機関等が一種の運用商品として投資することができるよう、リスクポートフォリオを再組成し、リスク商品への投資機会（引受機会）を提供しております。

また、当社は、流動化したリスクポートフォリオについて、金融機関等へのリスク移転を図るだけでなく、リスク移転先の一部を当社も出資する匿名組合としております。これは、当社とともに匿名組合出資を行う企業を広く募ることで、受託したリスクについて幅

広くリスク移転先を確保し、リスク移転手法を多様化することができるためです。本増資資金のうち 500,000,000 円については、既存の匿名組合への追加出資金に充当する 予定です。

本増資資金の残額については、当社が金融法人から信用リスクを受託するにあたり、保証債務の一部について履行義務の保全を目的として提供する担保資産（現金及び預金等）に充当する予定です。

### 3. 今後の見通しと影響

本件変更に伴う、当社業績への影響は軽微であります。平成 25 年 3 月期の業績予想につきましては、平成 24 年 5 月 14 日公表の「平成 24 年 3 月期決算短信」をご参照ください。

以 上